

KAZUNARI TOMINAGA

富永一成さん (60)

株式会社コミュニティネット
代表取締役社長

先人たちの念おもいを現代に。その入り口となる商品を提供していきたい。

ロングセラーの戦国手帳、幕末手帳をはじめ、明智光秀双六、新選組クリアファイル、坂本龍馬マウスパッド、戦国ブックカバー、大奥トラップ、名城カレンダーなど、これまで約600種類もの歴史関連グッズを世に送り出してきた。「歴史ブームといわれますが、市場そのものは極めて小さい。しかし、どうせなら小さな池の大きな魚を目指したいと思っています」

昭和34年、稲沢市生まれ。中学3年生のとき、村上元三の『勝海舟』で歴史の面白さに目覚め、関連書籍を濫読した。高校時代のあだ名は「幕末のトミー」。名城大学商学部を卒業後、広告代理店「毎日広告社」に入社。同期に小松成美さん（現ノンフィクション作家）がいた。

平成16年、44歳で独立。明確なビジョンはなかったが、苦しくても頑張れること、大好きな歴史に関係することをやろうと決めた。愛読する司馬遼太郎の言葉「長所を突き詰めれば天命

に至る」が闇夜の灯火となった。

代理店時代のスキルを生かしながら、手さぐりで売り出した坂本龍馬の写真付き切手が大人気ヒット。その後、「先人たちの念おもいを現代に蘇らせる。その入り口となる情報や商品を提供していきたい」と、監修者に霊山歴史館副館長・木村幸比古氏や静岡大学名誉教授・小和田哲男氏らを迎え、珠玉の名言シリーズなど専門性の高いグッズを多数開発。歴史ファンはもとより、子孫の方々にも支持され続け、他の追従を許さない。現在は、自社HPのほか、全国の歴史館や博物館など約300箇所で開催されている。毎朝4時に起床。新発見などによって日々アップデートされる歴史への目配りを怠らない。勝海舟の掛け軸や西郷隆盛の書状など、収集した書画は約2500点。週末は雅子夫人と史跡めぐりなどを楽しむ。両親と夫人の4人暮らし。孫は5人。一宮市在住。